

宮城縣支部聯合會

一、地方一般狀勢

本縣に於いては各黨の勢力分野を郡別に之を比較對象する事は殆んど困難な程混沌たる狀勢にあるが、之を衆議院議員及縣會議員選舉の結果よりみて、數的に現すならば、政友四・六、民政四・一、中立一・〇、社民〇・三の割合である。

衆議院議員選舉結果 宮城縣

政黨別	總得票數	立候補者數	當選者數	縣議員數
政友	四三六六〇	七	三	一六
民政	三六二五五	五	四	一五
中立	一七四一五	二	一	四
社民	六〇七六	一	〇	一

一方無産黨の陣營を一瞥すれば、全國農民組合支部を中心としたる舊勞農黨の黨勢は本縣に於ける無産黨勢力中の大部分を占め居たが四、一六事件後當局の彈壓左翼指導精神に對する恐怖、不滿を抱く者續出し、遂に全國農民組合支部をも解散

村會

2. 日當國等 政黨聯合會は地方議會内に於ける關係は勸諭時局問題に對する地方議會委員の實情等及經濟問題に關しても果敢に勇往邁進しつゝあるが、重要なものを、列記すれば左の如くである。

- 一、田中反動内閣打倒運動
- 二、仙臺市民病院設置運動
- 三、火葬場等級並使用料撤廢運動
- 四、勞働組合、農民組合組織並争議
- 五、公有地(縣市町村有地)拂下反對運動
- 六、電燈電力料金値下運動
- 七、瓦斯事業の公營並料金値下運動
- 八、家賃値下運動

仙臺市民病院設置運動は、聯合會所屬仙臺支部を擧げて、實費並無料診療所を即時設置せよとのスローガンのもとに昨年來より、繼續闘争し來つたのであつたが、一般無産市民の熱烈なる後援の結果遂に本年十月目的の貫徹をなすに至つた、と同時に各町村に、沸々として、實費並無料診療所設置要求運動が捲頭し來りたるは、

すると同時に警署署長轉旋のもとに地主小作人協同會なるものを各地に組織する状態で、内一部は宮城大衆黨を組織するに至つたが、その勢力は實に微々たるものである、之に反し、我聯合會は昨年度黨勢に比し、優に倍加し更に以下別表に現れ居る如く偉大なる發展力を示しつゝある状態である、

二、重要闘争

1、選舉闘争 本縣に於て本年四月執行されたる市町村會議員選舉戦の結果成績を視るに我黨は三〇名の候補者中一九名の當選者を出し、當選率六割を示したるに反し、舊勞農黨及他無産黨(無名)は、その數詳らかならざるも一〇餘名の候補者中僅二、三名の當選者を出したるに過ぎざる状態であり、吾黨黨勢の急速なる發展と、我黨に對する一般無産大衆の絶大なる信任を確證は物語りつゝある實證である、

政黨市町村會議員選舉結果

市町村別	候補者數	當選者數
市會	三	〇
町會	八	〇

公有地拂下げ反對運動 本縣は我國に於いて、有名な借金縣にして公有地縣有地市町村有地の拂下げをなすもの多く、我聯合會はこれが反對運動に對し、最近に於ては、勢力の大半を注ぎつゝあり、現に二ヶ町村に於いて、拂下げ反對の小作争議(参加小作人員六〇〇名)をなしつゝあるに即して明である、電燈電力料金値下運動に關しては、本縣は他府縣と異り、本年六月縣下電燈會社(仙臺市管を除く)を縣管に統一買収したるにより、全縣下に互り電燈電力料金値下期成同盟會を組織準備中なるも、(縣管電氣事業營利の反對電燈電力料即時値下のスローガンのもとに)一方縣會議員をして縣會に於いて闘争中である。

瓦斯事業の公營並料金の値下運動に付いては之又聯合會所屬仙臺支部を中心に闘争し來つた結果本年十一月値下げを断行せしめるに至つた、尙公營化運動は現在創立中の二會社に對すると